

令和7年度

全国学力・学習状況調査

－ 調査結果 と 指導改善のポイント －

中学校理科

- 1 はじめに
- 2 調査結果の概要
- 3 成果が見られた設問
- 4 課題が見られた設問
- 5 指導改善のポイント
- 6 おわりに

1 はじめに

佐賀県教育委員会では、児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、佐賀県小・中学校学習状況調査を行っています。

また、全国学力・学習状況調査の結果と一体的に分析することで、各学校における学力向上に向けた検証改善サイクルの確立につなげています。

令和7年度
学校における
学力向上の
検証改善サイクル

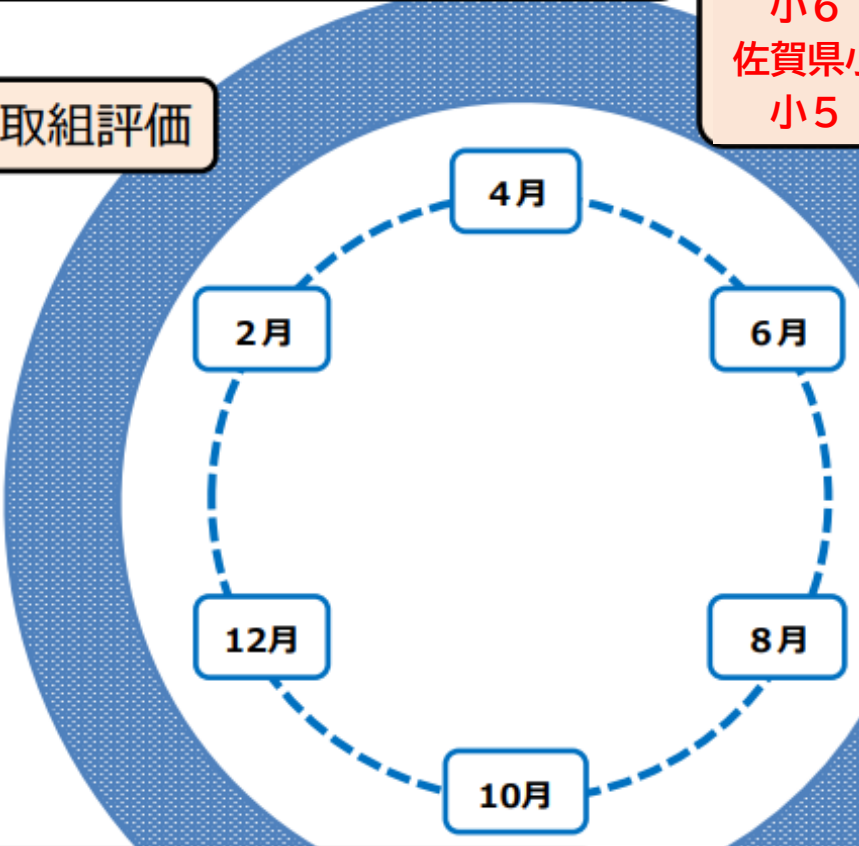
○1年間の大きな
サイクルの中で、
個々の取組に関
する小さな検証
改善を行う

検証改善サイクルを
確立・機能させるこ
とにより、児童生徒
の学力向上を図りま
しょう。

・課題解決に向けた取組の共通認識、
円滑な取組のスタート(評価シート)

【令和7年4月17日】
全国学力・学習状況調査
小6・中3
佐賀県小・中学校学習状況調査
小5・中2

取組評価



・問題分析

・結果分析

・取組の検討

○「評価シート」の効果的な活用による改善に向けた取組の徹底

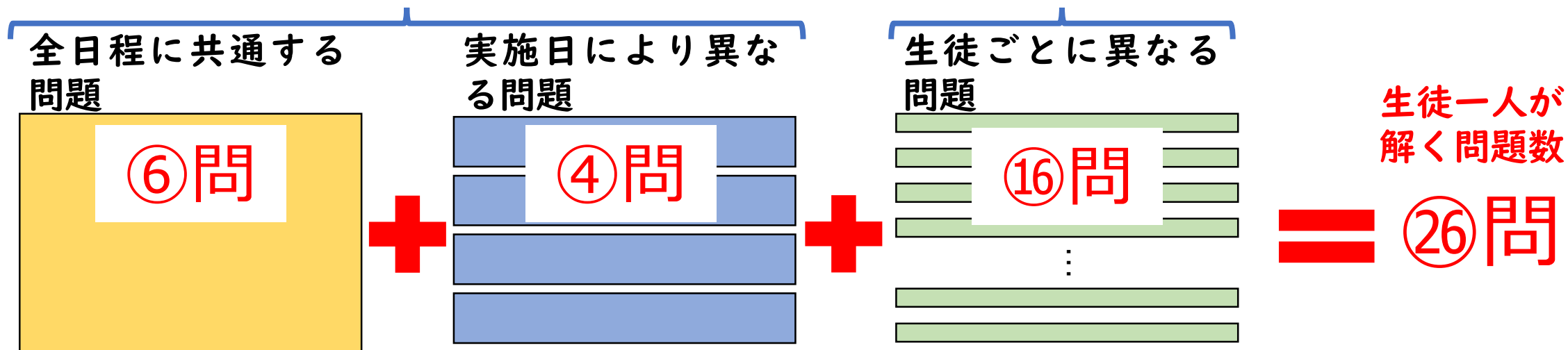
・改善に向けた取組

問題の構成について

- ・ 生徒1人あたり、公開問題10問と非公開問題16問、計26問に解答している。
- ・ 公開問題には全日程に共通する問題と実施日別の問題がある。
- ・ 非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題に解答している。

公開問題

非公開問題



3 成果が見られた設問

4 課題が見られた設問

では、

公開問題となっている22問から抽出し、分析しています。

調査結果の示し方について

従前（素点方式）

調査結果を、問題に対する正答数・正答率で示す。

※視力検査を例に説明すると

素点方式				
得点(スコア) の表現方法	何個のランドルト環 (C) を見ることができたか			
得点(スコア) の例	0.1		0.1	
	0.2		0.2	
	0.3		0.3	
	0.4		0.4	
5問/7問 (正答率71%)		>	4問/7問 (正答率57%)	

R7年度調査から（IRT方式）

調査結果を、正答や誤答が、問題の特性（難易度等）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、算出された値（IRTスコア等）で示す。

※視力検査を例に説明すると

IRT方式																		
得点(スコア) の表現方法	どの大きさのランドルト環 (C) を安定的に見ることができたか																	
得点(スコア) の例	<table><tr><td>0.1</td><td></td></tr><tr><td>0.2</td><td></td></tr><tr><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>0.4</td><td></td></tr></table>	0.1		0.2		0.3		0.4		<table><tr><td>0.1</td><td></td></tr><tr><td>0.2</td><td></td></tr><tr><td>0.3</td><td></td></tr><tr><td>0.4</td><td></td></tr></table>	0.1		0.2		0.3		0.4	
	0.1																	
	0.2																	
	0.3																	
0.4																		
0.1																		
0.2																		
0.3																		
0.4																		
	0.2 < 0.3 Aさん Bさん																	

※素点方式の場合は、Aさんの方が正答数（見ることができたランドルト環の数）と正答率が高くなる。
IRT方式の場合は、Bさんの方がスコア（どの大きさのランドルト環まで安定的に見ることができたか）が高くなる。

「令和7年度全国学力・学習状況調査 『中学校理科』 IRTを用いた結果返却について」
(https://www.mext.go.jp/content/20250710-mxt_chousa02-000043584.pdf) を基に作成

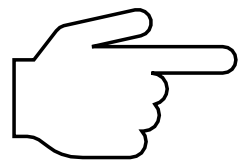
IRTを用いることで、できるようになること

- ① 異なる問題からなるテストの結果を互いに比較することができる。
- ② 異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる。

IRTを用いると、**異なる問題**から構成される調査の結果を、**同じものさし（尺度）**で比較することができます。

これにより、**幅広い領域・内容等についての調査が可能**になるとともに、**学力の経年比較**をすることができます。

詳しくは



「中学校理科」IRTを用いた結果
返却に関する動画・リーフレット

2 調査結果の概要

全国学力・学習状況調査（全国調査）

《教科全体》
中学校理科

年度	県平均 IRTスコア	全国平均 IRTスコア
R 7	485	503

R7の県平均IRTスコアは、全国平均IRTスコアを下回った。

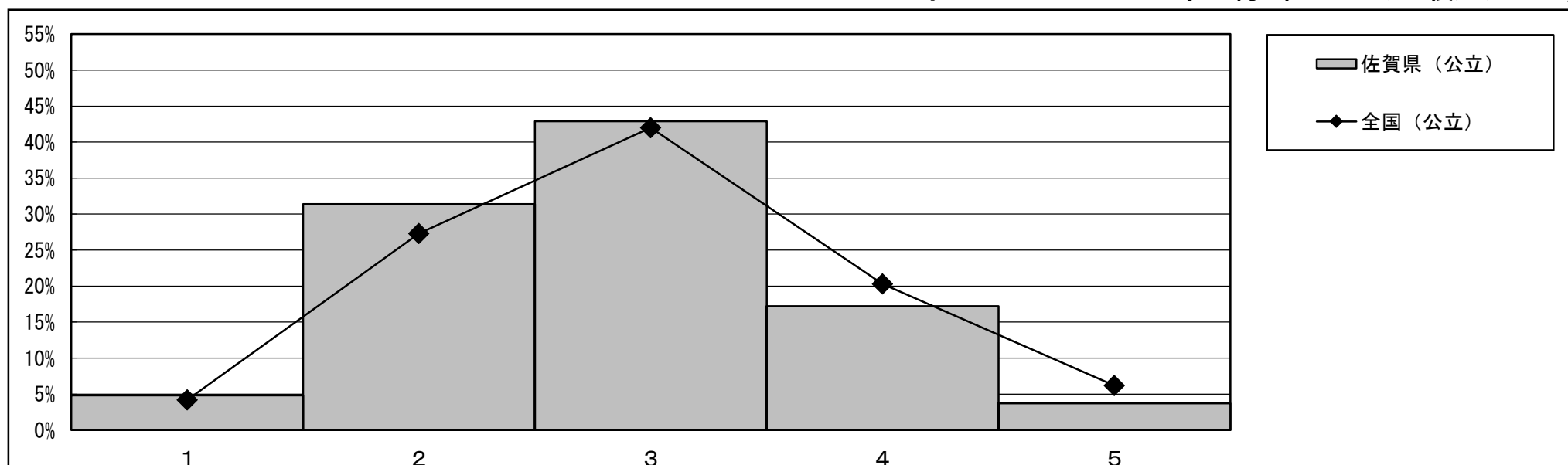
全国学力・学習状況調査（全国調査）

《教科全体》

中学校理科

IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド 縦軸：割合）

（※標準が3、最大が5）



全国と比較して、中間層に当たるIRTバンド3の割合は同程度であったが、IRTバンド2の割合は大きく、IRTバンド4の割合は小さい。

3 成果が見られた設問

- ◇地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる。
- ◇気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる。

4 課題が見られた設問

- ◆仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる。
- ◆ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ◆分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いているかどうかをみる。

5 指導改善のポイント

知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- 独立変数や従属変数、単位などを生徒自身で考え、グラフや表を作成して、測定値の関係性を見いだす学習活動を設定する。
- 予想や仮説を立てる場面において、身に付けた知識及び技能や日常生活の経験から、生徒が自分の考えをもち、対話を通して検討・改善する学習活動を設定する。

理科の見方・考え方を働かせて、これまでに身に付けた知識及び技能を活用することができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- 観察、実験の結果を分析して解釈する場面において、観察、実験の結果を比較したり、これまでに身に付けた知識及び技能と関連付けたりするなど、理科の「考え方」を働かせるような学習活動を設定する。
- 身近な現象を科学的に探究する場面において、身の回りの物質と「粒子」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、分析して解釈する学習活動を設定する。

化学変化の分解等に関する知識を概念として身に付けることができるようにするためには、次のような指導改善を行うことが大切です。

- 分解や化合についての観察、実験を通して、化学変化を粒子の保存性に着目して、原子や分子のモデルを用いて可視化し、得られた結果と関連付けて考える学習活動を設定する。
- 化学変化の分解等に関する知識及び技能を他の領域や身近な現象と関連付けて、多面的、総合的に考える学習活動を設定する。

6 おわりに

まずは、以下の点において指導改善を図りましょう。

- ◆知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるようにする。
- ◆理科の見方・考え方を働かせて、これまでに学習した知識及び技能を活用することができるようにする。
- ◆事実的な知識だけではなく、概念的知識として身に付けることができるようにする。

佐賀県
教育センター

サイト内検索

検索ワードを入力してください

各種研修

受講のための情報

受講者へのお願い

オンデマンド受講者専用ページ

駐車場の利用について

申込等各種手続

授業に役立つコンテンツ

授業に役立つ実践研究

学習評価の進め方

SAGAせ～る指導案

学習状況調査

授業に役立つ実践研究

プロジェクト研究			
	校種	教科・領域	研究主題：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
	小学校	各教科	【小学校国語科】 授業改善に役立つコンテンツ new
			【小学校算数科】 授業改善に役立つコンテンツ new
	中学校	各教科	【中学校国語科】 授業改善に役立つコンテンツ new
			【中学校数学科】 授業改善に役立つコンテンツ new
			【中学校英語科】 授業改善に役立つコンテンツ new
個別実践研究（教育センター所員がチームを組んで取り組んだ研究）			
	小学校	各教科・領域等	指導と評価の一体化を図るためのコンテンツの開発 new 社会科、算数科、図画工作科、外国語科、道徳科、学校保健
			指導と評価の一体化を図るためのコンテンツの開発 new 理科、音楽科、美術科、技術・家庭科（家庭分野）、道徳科

理科

・学習指導プラン
—第3学年「科学的エネルギー、エネルギーとエネルギー資源」—

・ワークシート
—第3学年「科学的エネルギー、エネルギーとエネルギー資源」—

・授業実践のまとめ

・授業実践の紹介（動画） new

・参考資料

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つコンテンツ、指導と評価の一体化を図るためのコンテンツなど、今すぐ使えるコンテンツが満載です。

佐賀県
教育センター

サイト内検索

検索ワードを入力してください



各種研修



受講のための情報



受講者へのお願い

オンデマンド受講者専用ページ

駐車場の利用について

申込等各種手続

授業に役立つコンテンツ



授業に役立つ実践研究

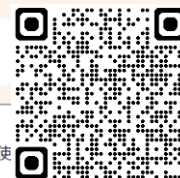


学習評価の進め方

SAGAせ〜る指導案

学習状況調査

「さがんば」(佐賀県学習問題)



これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査を基に作成されたC B T問題です。
児童生徒が、学習eポータルにサインインして、MEX CBT (メクビット) を使
上で学習することができます。

I 教師用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

II 児童生徒用マニュアル (PowerPoint版 / PDF版)

III 問題一覧 ※令和6年3月15日更新

小学校
国語小学校
社会小学校
理科小学校
英語中学校
国語中学校
社会中学校
理科中学校
英語中学校
英語

「さがんば」(佐賀県学習問題)

児童生徒用マニュアル

※このマニュアルにのせている画像は、実証用学習eポータルを
参考に作成したイメージ画像です。

1. 「さがんば」(佐賀県学習問題)

児童生徒用マニュアル



「さがんば」(佐賀県学習問題)って何ですか?

「さがんば」(佐賀県学習問題)とは、
授業や家庭で、学習eポータルを使い、オ
ンライン上で学習することができる佐賀県
が作成した問題です。いろいろな問題に取り組んで、学習内容の理解を深めて
いきましょう。また、主体的に取り組んで、「学力」も
つけていきましょう。

目次

スライドショーのときに、ここをクリック
すると、目次にもどることができます。

1. 「さがんば」(佐賀県学習問題)
2. 学習eポータルにサインインしよう
3. 問題に答えよう①
4. 問題に答えよう②
5. 結果を確認しよう①
6. 結果を確認しよう②

※それぞれ使っている学習eポータルのマニュアルは、
文部科学省C B TシステムMEX CBT運営支援サイト
にありますので、参考してください。
→<https://support2.mext.go.jp/manual/>



2. 学習eポータルにサインインしよう

児童生徒用マニュアル

ID

パスワード

サインイン

サインイン

サインイン

サインイン

サインイン

サインイン

サインイン

サインイン

学習eポータルにアクセスして、ID
とパスワードを入力してください。「サインイン」をクリックして、
ログインしてください。「MEX CBTテスト」をクリック
してください。※「サインインしたあとの画面」と
「MEX CBTテスト」の画面は、
学習eポータルによってちがいます。

サインインしたあとの画面

(3) 図4は双眼実体顕微鏡です。双眼実体顕微鏡を使って観察する際の正しい操作の順になるように、その
手順をクリックまたはドラッグ&ドロップしなさい。

図4



- 右目でのぞきながら、調節ねじを
回し、鏡筒を上下させ、ピントを
合わせる。
- 左目でのぞきながら、視度調節リ
ングを回してピントを合わせ
る。
- 両目でのぞきながら、視野が重な
って見えるように鏡筒の間隔を
調節する。

>

これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査
問題を基に作成されたC B T問題です。
学習eポータルにサインインして、MEX
C B T (メクビット) を使い、オンライン
上で学習することができます。